

実施年度 : 2020 (2021 入試) 年度
試験日 : 2021 年 2 月 22 日
入試種別 : 外国人留学生 大学院 (博士後期課程) 入学試験問題
学部・研究科 : 文学研究科 仏教学専攻
科目名 : 文献読解 (仏教漢文)

【問1】爾の時、長者、即ち是の念を作せり。此の舎は已に大火の焼かるる所と爲るをもって、我れ及び諸子にして、若し時に出でざれば、必ず焚かる所と爲る。我れ今、當に方便を設けて、諸子等をして斯の害を免るることを得しむべし。

【問2】国か、村か、集落か、あるところに長者がいた。彼は、老い衰え財産は限り無く持っていて、田畑や家屋、僮僕 of 召使いも多くいた。家は大きかったが門は一つであった。人は多く百人ないし五百人が住んでいた。ただし家はボロボロであった。同時に彼方此方から火が起こり、どんどん家が焼けていく。長者は恐ろしくなるが、子供たちが家の中で火事とも知らず夢中になって遊んでいる。恐れも知らず、苦痛を感じることなく、家を出ようという気持ちも無い。…(中略)…この家は火事で燃えている。このままでは焼け死んでしまう。何か方策を立てて救いだそう、と長者は考えて、子供が好きな玩具を知っていたので、「珍しい玩具が家の外にあるぞ、これを取らなければ後悔するぞ、外に出て、羊車、鹿車、牛車の玩具で遊びなさい。」と呼びかけると、子供たちは速やかに火宅から外に出て助かった。…(中略)…そのとき子供は、それぞれ羊車、鹿車、牛車をくださいと言ったので、長者は、子供たちに姿形の等しい一つのすぐれた車(等一大車)を与えた。…(中略)…長者は、方便をもって火事の家から子供を救い出し、珍宝のすぐれた車を与えたように、如来は、智慧にもとづく巧みな方便をもって衆生を済度しようとして、声聞・辟支仏・仏乗の教えを説いて「三界の火宅を楽しみ願って安住することがないように」と諭した。